



大阪YWCA

9
2022

<http://osaka.ywca.or.jp>

YWCA (Young Women's Christian Association)は、キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際NGOです。

「ワタシタチハニンゲンダ！」 を制作して

高 賛 侑



「私たちは動物ではない人間だ。」——この言葉を何度耳にしたことだろう。

私は今春、在日外国人差別問題をテーマとするドキュメンタリー映画（114分）を制作した。タイトルは、取材に応じてくれた方々が異口同音に口にした「ワタシタチハニンゲンダ！」以外に思い浮かばなかった。

作品は五月から公開が開始された。ご覧になった方は皆「いまの時代にこんな事態が進行中と知って衝撃を受けた」と語る。

こんな事態とは――。

外国人学校に通う子は幼稚園児から法的差別の対象となる。技能実習生はしばしば暴言・暴行を受け、恋愛・妊娠まで禁じられる。難民は認定

率が1%に満たず、命の危険がある地へ強制送還される。入管では劣悪な処遇のため病死や自殺する人が後を絶たない……。

被差別者のナマの声を撮影するたび、私は戦慄と涙を抑えることができなかつた。と同時に、人間の尊厳を懸けて闘う人々の姿に、また彼らを救うために献身的努力を注ぐ人々の姿に頭を垂れた。

私は在日朝鮮人二世として生まれ、少年時代には朝鮮人差別の風潮の中で深い民族的コンプレックスにさいなまれたものだった。

幸い朝鮮大学校の存在を知って進学したのを機に民族的アイデンティティーに目覚め、差別をなくす道へ進む決意を固めた。

そして中国、旧ソ連、米国に住む在外コリアンを取材する過程で、日本は国家が率先して法的、制度的に差別を行っている異常な状況にあることを確信した。

さらに日本で暮らす外国人の取材を進める中で、彼らもコリアンと同様の差別に苦しんでいることを知った。以来、コリアンを含む全ての外国人差別を根絶しなければならぬという視野を得ることができた。

私は三年前、朝鮮学校差別の歴史と現状を描いたドキュメンタリー「アイたちの学校」（99分）を制作したが、思いがけなく「韓国YWCAが選んだ良いメディアコンテンツ賞優秀賞（正義平和）」を受賞したのがご縁で大阪YWCA

Aを訪ねていった。

YWCAは、国籍や民族の違いを超えてあらゆる人権を守るために国際的な活動を推進されている。私も差別をなくすためには国内外の世論の喚起が緊要だと信じるため、英語版と韓国語版も作成した。YWCAに集う方たちにもぜひご覧いただき、上映活動にご協力くださるよう呼び掛けたい。共通の目的のために。

コウ・チャニユウ

朝鮮大学校卒。朝鮮関係月刊誌『ミレ（未来）』編集長を経てノンフィクション作家。2015年、ライフ映像ワーク設立。自由ジャーナリストクラブ理事。ルポ「旧ソ連に生きる朝鮮民族」で部落解放文学賞（記録文学部門）受賞。2019年、ドキュメンタリー映画「アイたちの学校」監督（キネマ旬報文化映画ベスト・テン）。日本映画復興奨励賞受賞。著書に『アメリカ・コリアタウン』、『国際化時代の民族教育』、『ルポ 在日外国人』等。

インターンシップ2022
オープニング公開プログラム

支援から協働へ

「サバイバーとともに
社会を変える」

昨年からはじめた、若い女性のリーダーシップ養成を目的にした「大阪YWCAインターンシッププログラム」。今年度の第一回目は「支援から協働へ」サバイバーと共に社会を変える」をテーマに公開講座として開催しました。

「人がある時、その原因や要素は一つだけではない。つまり自分の力では対応しきれないことが重なるから困りごとになる」と差別や構造的な暴力が交差する「インターセクショナルティ」の視点について説明されました。さらに「困っている当事者の声を聴きニーズを拾い上げることが社会を変える力になる」と話され、今回のテーマ「支援から協働へ」の意味がより明確になりました。

「これまで社会的に排除さ

れてきた・支援につながりにくかった人(集団)は、積極的に発信されないと、存在がなかったことにされがち」ということが繰り返し話されました。実際の大学の定款には「女性やLGBTなど誰もが尊重され」と、女性だけに限らず、誰もが支援の対象であることがうたわれているそうです。

誰でもが安心できる柔らかい表情とソフトなお話は、選挙では格差是正をうたいながら、孤独や貧困に起因する社会からの転落を「自己責任」にかたづけしてしまう昨今の風潮に感じていたモヤモヤがすかすかと晴れる内容でした。今年度のインターンシップには10代20代の女性6名が参加しています。公開講座を受けた彼女たちの感想の一部を紹介します。

2022年6月25日(土)

講師:認定NPO法人いくの学園
スタッフ



インターンシッププログラム オリエンテーションにて



インターセクショナルティということを知って、すごく印象に残った。当事者の中でも立場や置かれている環境が全然ちがう。そんな中でどう連帯していくのか、平和な社会を築けるのか、ということが大きな目標になると思う。

被害に遭った人は、自分を責めてしまうことがあるというが、そのときに、構造的な問題を理解してサポートできたらと思う。二次被害を起こさないよう、被害を受けた人を心身ともにサポートすることが重要と思う。

公開講座第2段! セクシュアリティ、ジェンダーってほんとに大事なの?

～日本の社会を考えよう～

講師:ロニー・アレキサンダーさん
神戸大学名誉教授、
ポーポキピースプロジェクト代表

とき:2022年10月15日(土)
15:00~16:30

暴力事件に接するとき、表面だけを見るのではなく、世代間に引き継がれるトラウマや暴力の連鎖をどうやって止められるのか、すごく考えさせられた。

支援する人は、暴力の被害者の話を聴いて親身になればなるほど、加害者は「悪」と思うだろうが、中でも、加害者が暴力をふるった背景とか要因とかを、対話を通して知っていくことが重要なかなと思った。

自分自身は当事者になったことがなく、また、話せる人・話を聴いてくれる人に恵まれているが、当事者のことを理解してサポートできる人になりたいと思う。

時の経過とともに、お客さまの変化のみならず、作る側のメンバーにも交代等があったはず。時々課題に柔軟に対応できたのは、発足当時の基本の考え方がきちんと受け継がれてきたからであろう。参加して日が浅い私はそのようなことがある。

(会員 鈴鹿 絹代)

26年前の3月

ぶどうの木

平和環境部主催学習会 6月18日

SDGsって知ってる？

～安心を未来につなげるために～



皆さんは、「SDGsって知っていますか?」「SDGs」の意味は「持続可能な開発目標」。国連サミットで採択され、2030年までの開発目標で17の目標と169のターゲットから構成されている。簡単に言い換えると「地球が抱える問題を解決するための世界共通の目標」。だから、「誰一人取り残されない目標」である。

最近SDGsは、よく目や耳にする言葉で、会社やお店や工事中の看板にもこの「SDGs」のいくつかの目標を掲げている。ゴールをめざして取り組んでくればよいのだが…

今回の学習会では、子どもたちがどのように学んでいるのか、実際の授業の形を取った。絵本「わたしがかわる みらいもかわる」(原琴乃作)を使い、パワーポイントで進めた。「私たちの地球で何が起きているの」と世界の課題を問題提起し、絵本をヒントに話し合い、今起きている自然災害「地震、津波、竜巻、台風、風水害」を出し合った。地球の未来を持続可能にするために「世界共通の目標SDGs」ができ、17のゴールに自分達の生活を振り返り、「もったいない」「ありがとう」の気持ちを大切にすることを確認した。一人ひとりの力は小さいけど、つながること大きな力になる、



講師の大畑知子さん 学習会にて

今日から行動していこうと絵本は終わる。

参加者は、聞くだけではなく、絵本をヒントに話し合ったり、発表したり、楽しい雰囲気での学習会は進んだ。

後半は、前半学習したことを振り返り、自分ができる目標の番号を書き、自分の考えを画用紙に絵や文で書いてまとめた。一人ひとりが今日から取り組むことを発表し、お互いの意見を聞き合い、実りのある学習会となった。

7月29日には、「子どももミニスクールで子どもたちに「SDGsってしってる?」の学習会をする機会を得た。きつと子どもたちは、大人顔負けの意見やアイデアを出してくれること期待している。

今回の学習会の講師をするこゝとで、YWCAとして「SDGs」の目標をどのように持ち、ゴールをめざすか、改めて考えあわねばと思った。良い機会を与えられたことに感謝している。

(会員 大畑 知子)

わたしのダイニング・ウィズ・ワイン イチオシ! そむりえ亭



東心斎橋のフレンチレストランをご紹介します。ホテル日航大阪「レ・セブリティ」チーフソムリエが14年前に独立開業、一皿ひと皿の料理に合わせたワインがグラスで提供され、見た目美しく美味しい料理に舌鼓はもちろん、ワインとの絶妙のマリアージュにうっとり、時には意外な組み合わせにびっくり。みなさんも、ぜひ一度!予約は、お電話で(06-4963-3098)。(会員 津戸 真弓)

初めてアジアYWCA地域会議に出席したが、改めてYWCAが国際NGOであるということを実感することができた。国際NGOで働きたいという長年の夢があったが、この会議を通して、自身が世界規模の組織の一員であるということ、オンラインながらに感じることができたと思う。世界中からYWCAの仲間が集まり、各国の女性が抱える問題について議論し、女性がいかに社会において脆弱であるか、ということを確認した。各国、問題意識が様々だったが特に印象的だった。例えば、ミャンマーではクーデター下の女性への支援、台湾では多様な文化的背景から、人種の視点も取り入れながら活動していた。インドでは女性へのアプローチだけではなく男性へのジェンダー教育にも焦点を当てており、非常に興味深かった。ジェンダー問題は「女性問題」として扱われることが多いが、私は、女性だけではなく男性を巻き込むかが、ジェンダー問題を解決するにあたり非常に重要だと考えている。そのため、インドのこのアプローチは女性の国際NGOとして、とても画期的だと思った。また、世界の女性が抱える問題をRise Up! という共通のプログラムを通して、各国が様々な切り口で取り組んでいて、皆が同じ方向を向いて活動している、ということを感じた。

(職員 永嶋 里香)



アジアYWCA地域会議に参加して

聖書の言葉
あなたの御言葉は、わたしの道の光
わたしの歩みを照らす灯
(旧約聖書詩編119編 105節)

大阪YWCA2022ピースフェスティバル ワタシタチハニンゲンダ! 映画上映会

日時: 2022年9月10日(土) 13:00~
参加費: 一般1,500円、学生1,000円
申込: Tel06-6361-0838/mail:info@osaka.ywca.or.jp

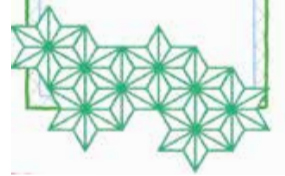
コウチャニュー
高賛侑監督が
来場!
映画への熱い
思いを語って
いただきます



大阪YWCA専門学校

日本語夏期集中 コース

7/19~8/5



コロナ禍でおとしは開講できず、昨年はオンラインでおこなった日本語夏期集中コース、今年は3年ぶりに対面で台湾、香港、中国、フランス、ニュージーランドから学生が参加して開講できました。

日本語の勉強だけでなくオプショナルプログラムも企画し、書道体験には3人参加してくれました。皆さん、初めてではないとのこと、筆の使い方も手慣れたもの、日本人より上手ではないかと思う立派な作品ができあがりました。

3週間の授業が終わり、8月5日の修了式では、修



了証書授与の後、入門クラスは一言スピーチを、中級クラスはそれぞれが作った短歌の発表をしてもらいました。コロナ禍ということ、賑やかな修了パーティはできませんでしたが、皆それぞれに連絡先の交換をしたり、一緒に写真を撮ったりして笑顔で解散しました。これからも日本語の勉強を頑張って続けて欲しいと思います。

(職員 桑原 静枝)



7月29、30日の2日間、夏休み子どもミニスクールを大阪YWCA千里で行いました。小学1年生から4年生の元気な子どもたち8名が参加して、1日目の社会科では「SDGs」について学びました。絵本をみながら地球でどんなことが起きているか話し合い、自分たちができることを発表しました。理科実験では、ゾートロップ(回転のぞき絵)やぴかぴか光る万華鏡を作り、昼休みにはゆつくり流れる時間の中で、すてきなお話を聞きました



夏休み子どもミニスクール

2022年7月29日-30日



2日目はプラ板で時計を作り、午後からは日本語学科の留学生と子ども部の協力のもと、外国の遊び体験をしました。

ミニスクールは学年を超えて、協力しあったり、汗をかいたりするプログラムがたくさんです。次回は冬休みに開催予定です。是非ご期待下さい。

(職員 奥 美和子)



ご協力ありがとうございます

[22/6/1~7/31] 敬称略順不同

賛助費

- 有田 悦子 内坂 晃 岡 由紀子
- 落合 保子 片山 純子 神屋敷絹恵
- 加輪上敏彦 貴志 慶子 栗本丹志貴
- 黒田 朋子 小島志佐子 小林 直子
- 後藤ゆかり 西条 哲 関根 久子
- 芹野 恵美 高木 裕子 田中 英子
- 谷川 毅 豊島 博子 端野 昌彦
- 花岡千代美 藤井 保男 松下 直代
- 松田 慶子 南 憲明 山崎久美子
- 山東 史子 吉田佳代子

寄付

- 粟野 陽一 匿名1名
- 千原ボランティア委員会
- 下司 寿子

講座部

- 田尻 美知 仲上 幸子 山本 淳子
- 片山 隼亮 山下つねよ

その他

- 妹尾 弓子 大岡真知子 片山 淳子
- 加藤 康子 河合美枝子 坂上 信子
- 鹿野 幸枝 田口 美智 田中 慶子
- 辻 加代 徳広 彩 中山 光世
- 中山 羊奈 古山 幸子 堀本千代子
- 前川 契子 村松 通子 渡辺 知子

募金

- 32口 3,233、3,577円

お詫びと訂正

7月号4面「ご協力ありがとうございました」でお名前間違っていました。お詫びして訂正いたします。

- (誤) 内坂 健 (正) 内坂 建

新入会員歓迎!!

- ☆梅田 萩野 順子 小八木晴代
- 澤田 啓子

7月運営委員会報告

【報告】▼女性エンパワメント部 6/25インターンシッププログラム始動 ▼梅田会員部 6/15ベジスチープの会留学生へスチープ提供 ▼千里委員会7/5マズカフェ参加者によるお菓子作り

【協議】①第3期L A補助申請について 沖繩Yとの共同プログラムで申請 ②クリスマスバザーについて 12月に実施することを決定

高齢者・障がい者の
“住居”を探します! **無料**

一般社団法人(大阪府指定居宅支援法人第073号)
みのりサポート
大阪オフィス: 536-0005
大阪市城東区中央2-10-18
080-4614-0268